

発達の段階や教科・領域の特質に応じた 探究する力の育成イメージ(たたき台)

探究・・・物事の本質を探って見極めようとする一連の知的営み

高等学校における総合的な学習の時間、課題研究、理数探究(仮称)

- 各教科等の特質に応じて育まれる見方や考え方を**総合的**に活用するとともに、自己の**在り方生き方**に照らし、自己のキャリア形成の方向性と関連づけながら見方や考え方を組み合わせて**統合**させ、活用しながら、自ら問いを見出し探究することのできる力を育成する。

各教科

- 各教科の特質に応じて育まれる見方や考え方を活用しながら、各教科の本質的な理解等に向けて探究することのできる力を育成する。
- 各教科の本質的な理解等に向かうことが重要であることから、問いについては教師が効果的に設定しながら、学習者自身が知識等を構造化できるような学習過程を設定する場合と、学習者が問いを見出すことができるような学習過程を設定する場合とがある。

小・中学校の総合的な学習の時間

- 各教科等の特質に応じて育まれた見方や考え方を**総合的**に活用しながら、自ら問いを見出し探究することのできる力を育成する。
- 探究的な学習が自己の**生き方**に関わるものであることに気付く。

※上記のような力を育成する手立て(学習のプロセスや学習活動)としての「探究」が各教科等で行われている。
(各教科等によって、学習のプロセスや学習活動は異なる。)

【生活・総合的な学習の時間WG(4月25日)における、総合的な学習の時間と理数探究(仮称)の関係に関連する意見】

- 現在、職業学科における課題研究は、総合的な学習の時間との代替と可能にしている。理数探究(仮称)も、これと同様に、早い時期に自分のキャリアや進路を見定めた生徒が、その中で探究する力を身に付けていくもの。また、その過程で、職業人としてあるいはその進路で生きていくのに関わって身に付けている生き方や在り方、人間性というものが結果的に付いていくので、総合的な学習の時間で目指すものと関わってくる部分がある。したがって、理数探究(仮称)についても、総合的な学習の時間との代替を可能とすることでよいのではないか。
- 理数探究(仮称)について、特に進学校で受験勉強になってしまうことになれば、総合的な学習の時間との代替を可能にしてよいのではないか。
- 理数探究(仮称)という科目ができることを契機として、高等学校における総合的な学習の時間は、知的好奇心と言語能力をベースとして、既存の学科・科目ではない学際的なテーマとしていくことが一つではないか。その中で、「探究的な学習の時間」として実施していけるように工夫してはどうか。